

AXIS D3110 Mk II Connectivity Hub

センサーと音声の安全な統合

AXIS D3110 Mk IIは、センサー機能や音声機能を持たないネットワークビデオシステムや、追加の機能が必要とするネットワークビデオシステムにセンサー機能や音声機能を提供します。これらの機能はAxisのエンドツーエンドソリューションに完全に適合します。これは、システム内のアラームやイベントをトリガーするさまざまな非視覚的センサーに接続されます。マイクロフォンやスピーカー、またはその両方に接続されるAXIS D3110 Mk IIは、高品質の音声を介してシーンの認識を高めます。ACAP (AXIS Camera Application Platform) をサポートし、VAPIX[®]、MQTT、SIPを介したシームレスな統合を実現します。さらに、ハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォーム、Axis Edge Vaultがデバイスを保護し、不正アクセスから機密情報を保護します。

- > 8つの状態監視付きコンフィギュレーションI/O
- > 音声入力ポート x2、音声出力ポート x1
- > VAPIX[®]、MQTT、SIPの統合
- > AXIS Audio Analyticsプリインストール済み
- > 内蔵サイバーセキュリティ「Axis Edge Vault」



AXIS D3110 Mk II Connectivity Hub

システムオンチップ (SoC)

モデル
NXP i.MX 8M Nano

メモリー
1024 MB RAM、1024 MBフラッシュ

音声

音声機能
自動ゲインコントロール
音声入力用10バンドグラフィックイコライザー
ボイスエンハンサー

音声ストリーミング
双方向、全二重
単方向 - スピーカーのみ
単方向 - マイクのみ

音声入力
入力1: 外部マイクロフォン入力またはライン入力 (バランス型またはアンバランス型)、オプションの12Vリング電源付きデジタル音声入力
入力2: 外部マイクロフォン入力またはライン入力 (バランス型またはアンバランス型)
マイクロフォン電源5V (チップ)、ファントム電源12V (チップ/リング)、デジタル入力用リング電源12V (リング)

音声出力
ライン出力

音声エンコーディング
AAC-LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726
ADPCM 8 kHz、Axis μ -law 16 kHz、Opus 8/16/48 kHz

音声管理

AXIS Audio Manager Edge

内蔵機能:

- 最大200台のスピーカーを20のゾーンに分割できるゾーン管理。
 - 音楽およびライブ/事前録音されたアナウンスのコンテンツ管理。
 - コンテンツをいつ、どこで再生するかを決定するスケジューリング。
 - 緊急メッセージがスケジュールに割り込むようにするコンテンツの優先順位付け。
 - システムエラーのリモート検知のための健全性監視。
 - どの機能にどのユーザーがアクセスできるかを制御するユーザー管理。
- 詳細については、axis.com/products/axis-audio-manager-edge/supportのデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Center

AXIS Audio Manager Centerは、マルチサイトシステムのリモートアクセスと管理のためのクラウドサービスです。
仕様については、axis.com/products/axis-audio-manager-center/supportのデータシートを参照してください

I/Oインターフェース

設定可能I/O

アース付き6ピンコネクタ x2、12V (最大50 mA)、
設定可能な状態監視I/O x4

リレー

SPDTリレー x1、ターミナルブロック、最大1A、最大30V DC

RS485

RS485またはRS422 半二重/全二重、最大460.8 kbps

ネットワーク

ネットワークプロトコル

IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS¹、HTTP/2、TLS¹、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP[®]、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、リンクローカルアドレス (設定不要)

1. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース

VAPIX®、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様についてはaxis.com/developer-communityを参照)。
ワンクリックによるクラウド接続
Voice over IP (VoIP) システム、ピアツーピア、または SIP/PBXと統合するためのSession Initiation Protocol (SIP) のサポート。

イベント条件

音声：音声クリップ再生
音声分析機能：閾値以上の音声レベル、ガラス破損検知、悲鳴検知、叫び声検知
呼び出し：状態、状態変化
装置状態：動作温度超過/未満/範囲内、IPアドレスのブロック/削除、ライブストリーム有効、ネットワーク接続断絶、新規IPアドレス、リングパワー過電流保護、システムの準備完了
デジタル音声：デジタル信号にAxisメタデータが含まれている、デジタル信号のサンプリングレートが無効、デジタル信号がない、デジタル信号OK
エッジストレージ：録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検出
I/O：デジタル入力がアクティブ、デジタル出力がアクティブ、手動トリガー、仮想入力がアクティブ
MQTT：MQTTクライアント接続、ステートレススケジュールおよび繰り返し：スケジュール

イベントアクション

音声クリップ：音声クリップの再生、ルール有効時の音声クリップの再生、音声クリップの再生停止
呼び出し：呼び出しへの応答、SIP呼び出しの終了、SIP呼び出し
I/O：I/Oを一度切り替え、ルールが有効な間にI/Oを切り替え
LED：ステータスLEDを点滅、ルールがアクティブな間にステータスLEDを点滅
MQTT：MQTT公開メッセージを送信
通知：HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
録音：音声を記録、ルールが有効な間に音声を録音
セキュリティ：設定の消去
SNMPトラップメッセージ：送信、ルールがアクティブな間に送信

分析機能

AXIS Audio Analytics

機能：適応音声検知、音声分類
音声分類：悲鳴、叫び声、ガラスが割れる音

認証

製品のマーキング

CSA、UL/cUL、CE、KC、VCCI、RCM

サプライチェーン TAA準拠

EMC

EN 55035、EN 55032 Class A、EN 50121-4、EN 50130-4、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2、IEC 62236-4
オーストラリア/ニュージーランド：RCM AS/NZS CISPR 32 Class A
カナダ：ICES(A)/NMB(A)
日本：VCCI Class A
韓国：KS C 9835、KS C 9832 Class A
米国：FCC Part 15 Subpart B Class A

安全性

CAN/CSA-C22.2 No62368-1、IEC/EN/UL 62368-1

環境

UL 2043 (プレナム定格)、IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-64、IEC/EN 60529 IP30

ネットワーク

NIST SP500-267

サイバーセキュリティ

ETSI EN 303 645、BSI ITセキュリティラベル、FIPS 140

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア：署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護

ハードウェア：Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム

セキュアエレメント (CC EAL 6+、FIPS 140-3 Level 3)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、AxisデバイスID、セキュアキーストア、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)²、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS²、TLS v1.2/v1.3²、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化

AXIS OS/ハードニングガイド

Axis脆弱性管理ポリシー

Axisセキュリティ開発モデル

AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)

ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。

Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

2. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptosoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

概要

ケーシング

IP30規格に準拠したアルミニウムケース
カラー：黒 NCS S 9000-N

取付

AXIS T91A03 DIN Clip A
取付ブラケット

電源

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at Type 1
Class 3、標準 3 W、最大 9.53 W
または
10~28 V DC、標準 3 W、最大 9.0 W

コネクタ

音声: 3.5 mm 入力×2、3.5 mm 出力×1
データ転送: USB 2.0 Type A×1、最大負荷 500 mA
I/O: 6ピンターミナルブロック×2 (設定可能な状態監視 I/O×4用)
I/O: リレー×1、ターミナルブロック
ネットワーク: シールド付き RJ45 10BASE-T/100BASE-TX PoE ×1
電源: DC 入力ターミナルブロック
シリアル通信: RS485/RS422、2個、2ポジション、全二重、ターミナルブロック

ストレージ

microSD/microSDHC/microSDXC カードに対応
SD カード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)
NAS (Network Attached Storage) への録画
推奨される SD カードと NAS については、[axis.com](https://www.axis.com) を参照

動作温度

温度: -40 ° C ~ 70 ° C (-40 ° F ~ 158 ° F)
起動温度: -20 ° C
湿度: 10 ~ 85 % RH (結露不可)

保管条件

温度: -40 ° C ~ 70 ° C (-40 ° F ~ 158 ° F)
湿度: 5 ~ 95 % RH (結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

重量

445 g (0.98 lb)

パッケージ内容

インストールガイド、接続ハブ、コネクタキット

オプションアクセサリ

AXIS T91A03 DIN Clip A、AXIS TD3901 Strain Relief
AXIS T8351 Mk II Microphone 3.5 mm、AXIS C8310
Volume Controller
AXIS Surveillance Card
その他のアクセサリについては、[axis.com/products/axis-d3110-mkii#compatible-products](https://www.axis.com/products/axis-d3110-mkii#compatible-products) をご覧ください

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証

5年保証、[axis.com/warranty](https://www.axis.com/warranty) を参照

製品番号

[axis.com/products/axis-d3110-mkii#part-numbers](https://www.axis.com/products/axis-d3110-mkii#part-numbers) で入手可能

サステナビリティ

物質管理

PVC 不使用、BFR/CFR 不使用 (JEDEC/ECA 標準 JS709 に準拠)
RoHS、EU RoHS 指令 2011/65/EU および 2015/863、規格 EN IEC 63000:2018 に準拠
REACH (EC) No 1907/2006 に準拠。SCIP UUID については、echa.europa.eu を参照

材料

OECD ガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axis の持続可能性の詳細については、[axis.com/about-axis/sustainability](https://www.axis.com/about-axis/sustainability) にアクセスしてください。

環境責任

[axis.com/environmental-responsibility](https://www.axis.com/environmental-responsibility)
Axis Communications は UN Global Compact の署名企業です (詳細については [unglobalcompact.org](https://www.unglobalcompact.org) を参照)

